

調査概要

- 調査テーマ** 子どもや家族との関係、家事・育児の実態、父親の役割、父親の育児観、ワークライフバランスなどの東アジア4都市比較
- 調査方法** インターネット調査（各国のインターネット調査会社に実査を委託し、調査会社のモニターを使用）
- 調査対象・調査時期・調査地域・サンプル数**

	東京	ソウル	北京	上海
調査対象	0歳から5歳就学前の乳幼児を持つ父親（北京・上海は、第1子）			
調査時期	2009年8月	2010年3月	2010年3月	2010年3月
サンプル数	1,602人	1,046人	1,800人	1,800人
	0歳 288人	0歳 165人	0歳 300人	0歳 300人
	1歳 270人	1歳 171人	1歳 300人	1歳 300人
	2歳 257人	2歳 179人	2歳 300人	2歳 300人
	3歳 273人	3歳 182人	3歳 300人	3歳 300人
	4歳 267人 5歳 247人	4歳 176人 5歳 173人	4歳 300人 5歳 300人	4歳 300人 5歳 300人
調査地域	東京都	ソウル市・京畿道の8市	北京市	上海市

4. 調査項目

子どもとかわる時間（平日・休日）、家事・育児の実態と希望、妻とのかかわり、女性の就業についての意識、子育てで力を入れたいこと、子どもの将来への期待、進学への期待、家族の中での存在感、祖父母とのかかわり、理想的な父親イメージ、父親としての将来への不安、ワークライフバランスの考え方、両立支援制度の活用実態と意向、仕事・家事・育児以外の活動 など

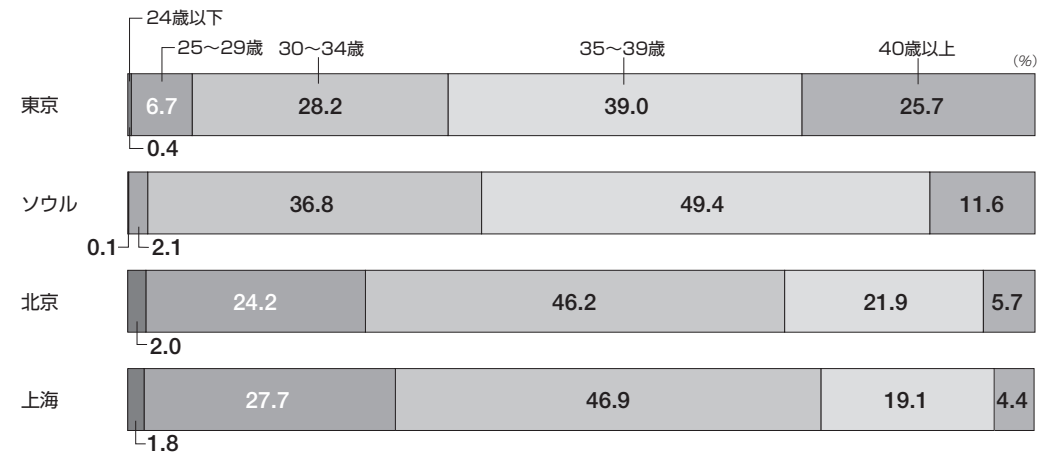
（*国内調査の調査票をベースに、日本独自の制度についての設問などは削除した。また、一部、ワークライフバランス実態に関する設問を、ソウル・北京・上海のみ追加した。）

基本属性

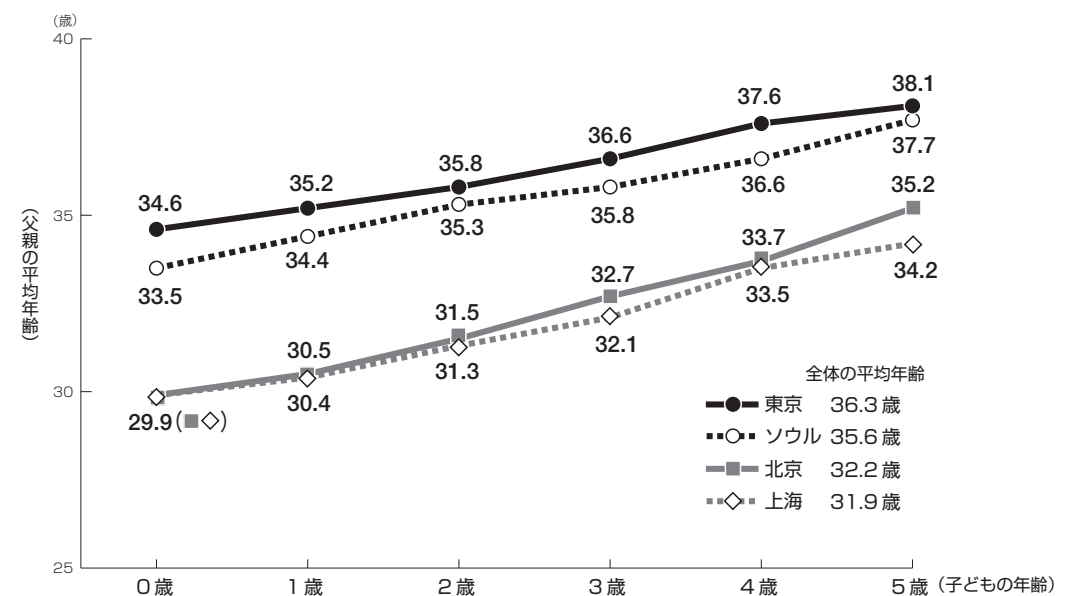
ここで説明する基本属性は、東京1,602人、ソウル1,046人、北京1,800人、上海1,800人の0～5歳就学前の乳幼児を持つ父親を母体として算出した数値である。東京については、2009年8月に実施した、「第2回乳幼児の父親についての調査」（首都圏の0歳から6歳4か月就学前の乳幼児を持つ父親対象）より、東京都在住で0歳から5歳児の父親を抽出している。

A 父親の属性

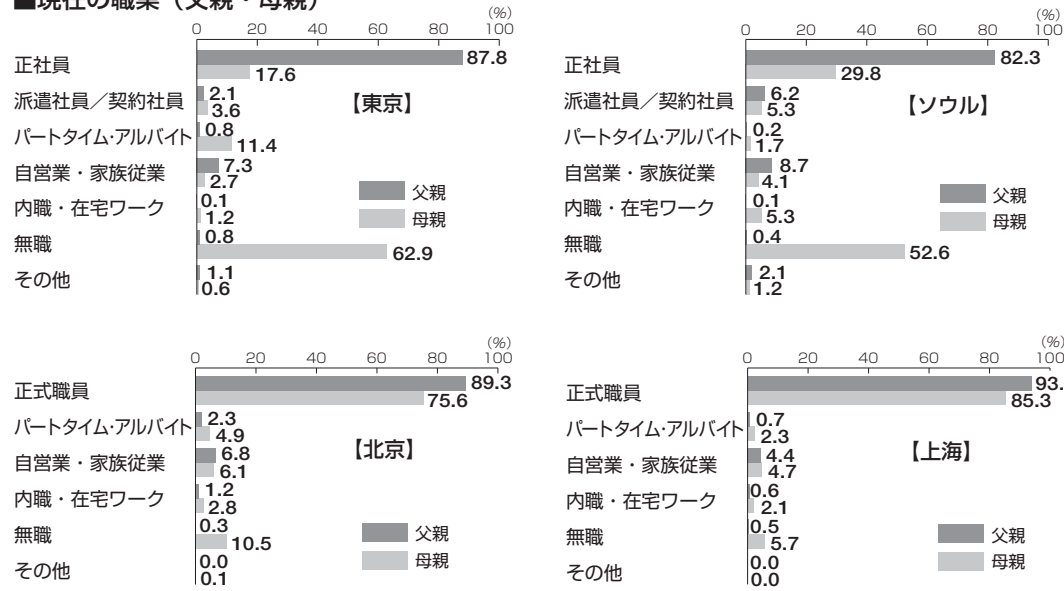
■父親の年齢



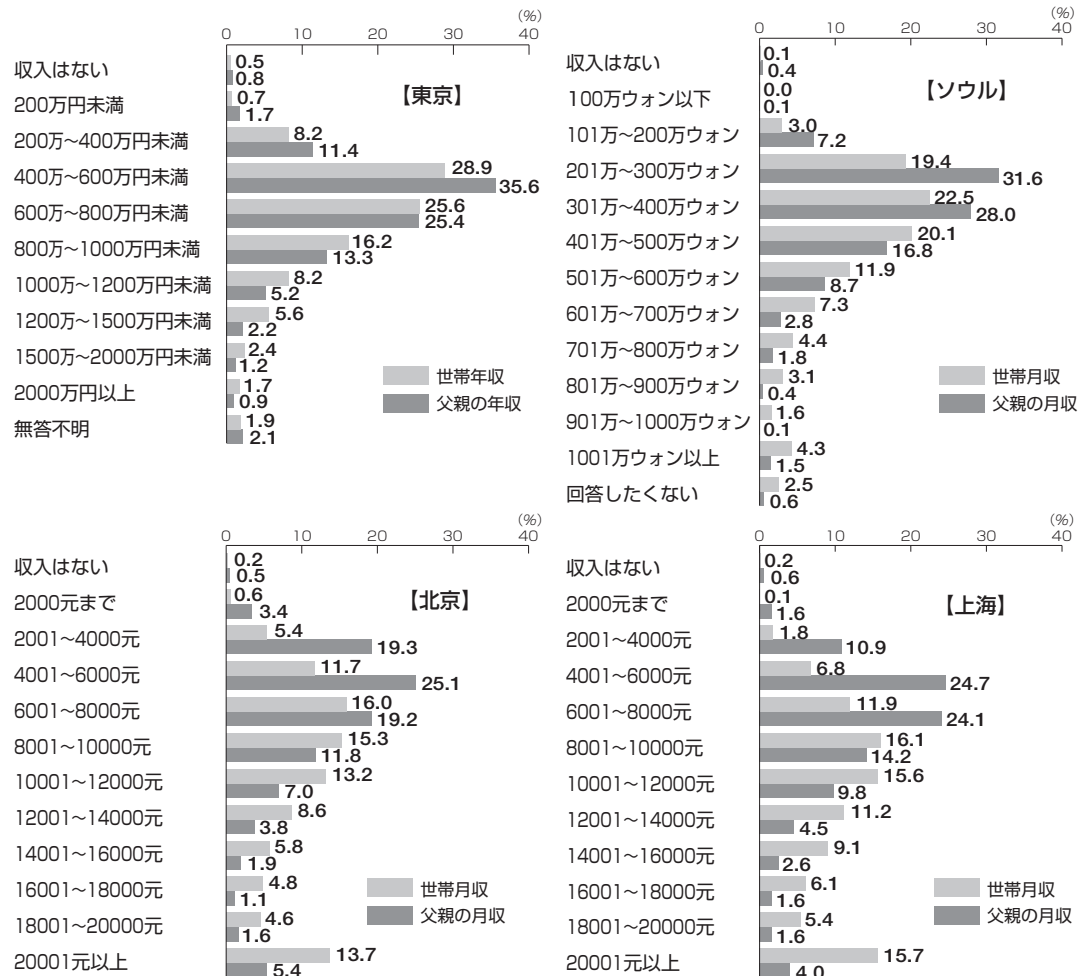
■父親の平均年齢（対象の子どもの年齢別）



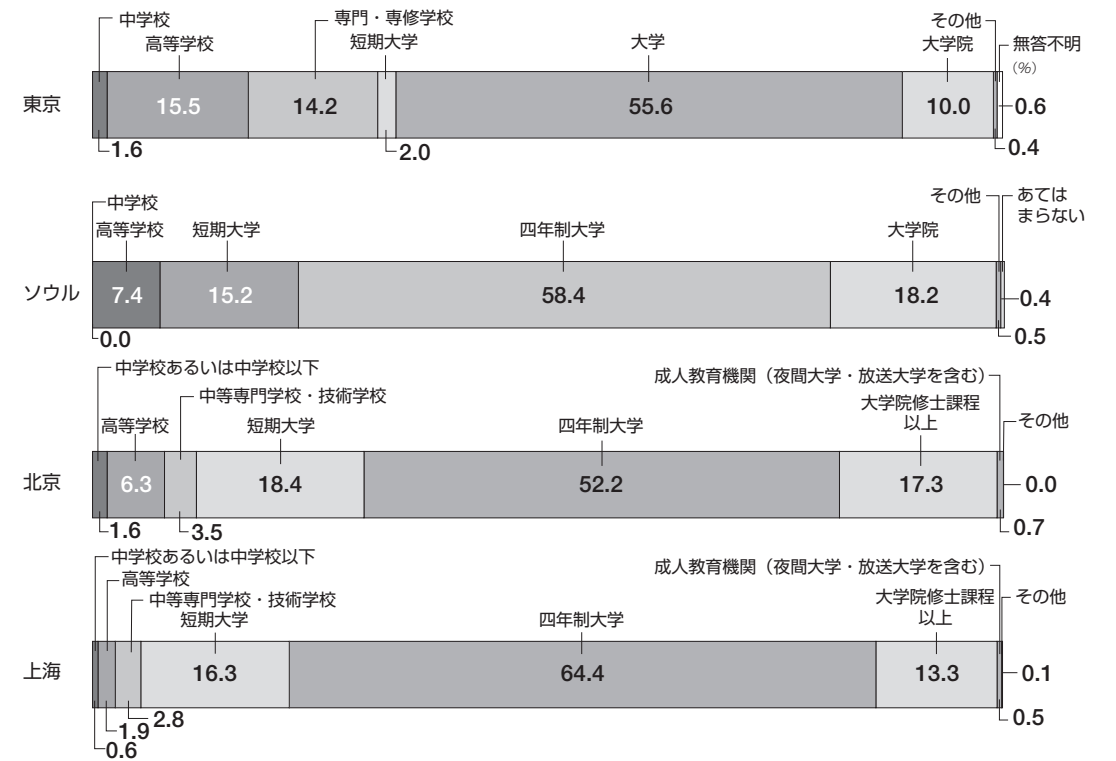
■現在の職業（父親・母親）



■世帯収入・父親の収入（東京は年収/ソウル・北京・上海は月収）

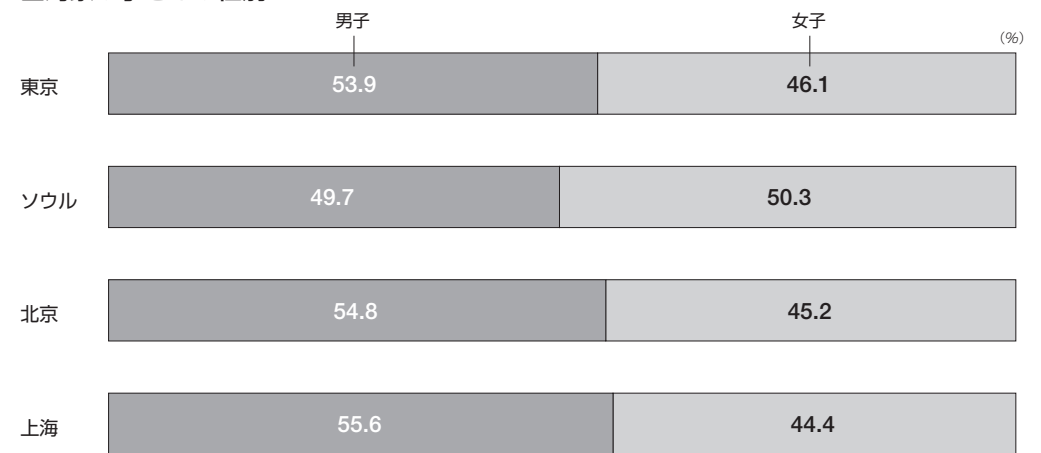


■最終学歴

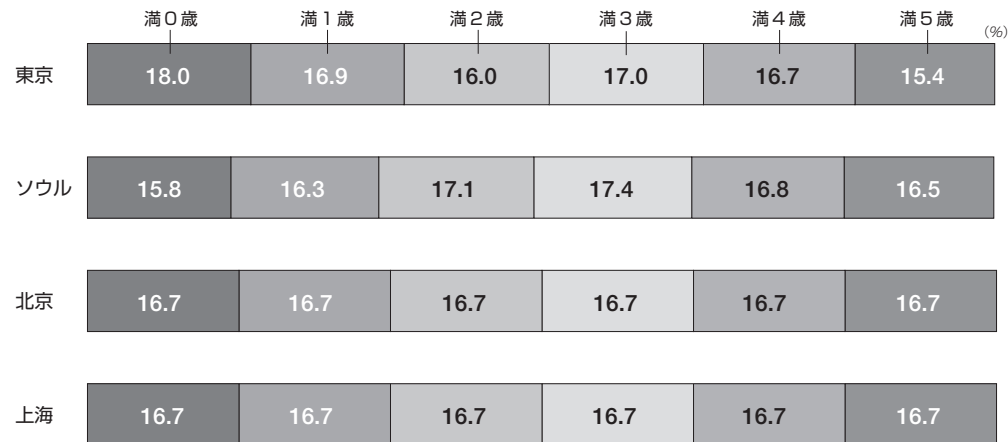


B 子どもの属性

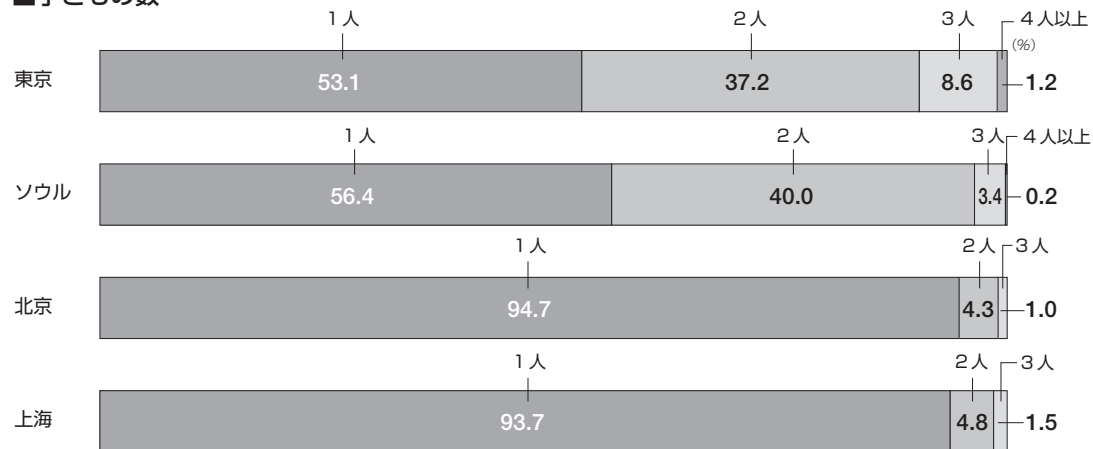
■対象の子どもの性別



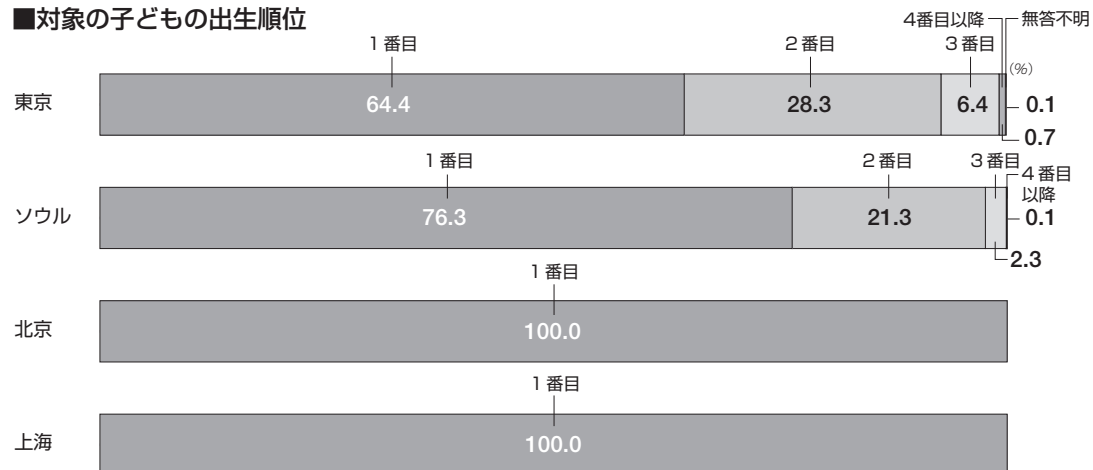
■対象の子どもの年齢



■子どもの数



■対象の子どもの出生順位



注) 北京・上海は第1子を調査対象とした。